



有機農産物にかかる取組みと課題について

株式会社バイオ・マーケット



はじまりは、ひと粒の種。

- ◎有機農業に携わり畑を耕すひとたちと、食べることで応援するひとたちを結ぶことで、日本の自然の生態系を維持し、環境に配慮した暮らし方を皆様にご提案しようと、1983年にビオ・マーケットは創業されました。
- ◎環境や生きものとの調和と多様性を大切にし、持続可能な社会をめざす有機農業の考え方※には、私たちの暮らしを豊かにするヒントがいっぱい詰まっています。
- ◎自然の声に耳を澄まし、季節を感じ、無理をせず、無駄も少なくすること。そんな“できること”から始めるのがオーガニックライフです。
- ◎オーガニックライフに共感する人たちの輪が広がることで、子供たちに豊かな未来を残していくことができると考え、ビオ・マーケットは日々の事業活動を行っています。

※有機農業の考え方

1. 命の源である土を守ること
2. 未来に豊かな大地を贈ること
3. 自然の力を大切にすること
4. 植物や動物の命を尊重すること
5. 環境にやさしいこと
6. すべてのひとが幸せであること
7. いつも自然と共鳴していること



会社理念と品質方針

<会社理念>

生命と環境を創造する有機農業の理念に基づいて、新たな生産と消費を創出し、調和と多様性に富んだ社会の構築に尽くします。

<品質方針>

1. 生産者・お客様と相互理解を深め、有機農業が持続発展する生産・流通システムの構築と確立を目指します。
2. 生産者と情報・技術を循環・評価し合う環境をつくり、信頼される商品・サービスを提供します。
3. お客様に対する共感力を持ち、多様性に富んだオーガニックな暮らしづくりを提案します。



会社概要

創業 1983年8月1日
資本金 1億円
株主 京阪ホールディングス(株)100%
代表者名 代表取締役社長 大浅田 寛
本社 大阪府豊中市
正社員数 50名(2024年4月1日現在)
事業所



和歌山センター

豊中センター	(大阪府豊中市)	本社／営業／物流機能
戸田センター	(埼玉県戸田市)	営業／物流機能
和歌山センター	(和歌山県紀の川市)	物流機能
名古屋営業所	(愛知県春日井市)	営業／物流機能
福岡営業所	(福岡県福岡市)	営業／物流機能

グループ会社

株式会社ビオ・ランド紀の川	(和歌山県・農業生産事業)
株式会社ビーワイシー	(広島県・宅配事業会社)



沿革

- | | |
|----------|---|
| 1983年 8月 | (株)ビオ・マーケット設立 |
| 1989年 9月 | 「ポラン広場の宅配」業務開始 |
| 1990年 2月 | 「ポラン広場の宅配」南大阪地域の供給開始 |
| 1992年 1月 | 和歌山センター開設 |
| 1992年 8月 | 大阪府豊中市名神口に新センター開設 |
| 1996年 3月 | 「ポラン広場の宅配」九州地域の供給開始 |
| 1998年 6月 | 「ポラン広場の宅配」中国地域の供給開始 |
| 2002年 4月 | (株)地球の子供たち(1982年10月設立)他2社と事業統合、
戸田センター開設 |
| 2005年 1月 | 和歌山県紀の川市に新和歌山センター設立 |
| 2009年 5月 | 農業生産法人株式会社ビオ・ランド紀の川に出資 |
| 2011年 3月 | 南大阪地域の宅配事業の営業譲渡を受ける |
| 2011年 4月 | 宅配事業の名称を「ビオ・マルシェの宅配」に統一 |
| 2014年10月 | 京阪電気鉄道株式会社(現京阪ホールディングス)のグループ会社となる |
| 2015年 4月 | (株)ポカラ、(株)ビオ・ファームの両子会社を合併 |



事業概要(小売事業)

1. 会員制宅配事業

サービス名称「ビオ・マルシェの宅配」

グループ会社含め、9,100会員

東京・神奈川・埼玉・千葉・愛知・大阪・兵庫・京都・広島・福岡を中心に展開

毎週お届けする野菜セット(4種類)が基本商品

100%有機JAS認証である野菜のほか、有機加工食品700アイテムをはじめ、年間3,500アイテムを提供



2. ネットショップ事業

100%有機JAS認証である野菜のほか、ビオ・マルシェオリジナルの加工食品を中心とした商品を扱う自社サイトを展開



地域別宅配会員数



自社便配送エリア



その他は、宅急便







事業概要(卸売事業)

事業内容

野菜・米を中心とした有機農産物と、有機加工食品ブランド「ビオ・マルシェ」を、百貨店、量販店、専門店、飲食店へ販売

有機野菜および米・小麦・大豆などの穀類を中心に、有機食品・飲料メーカーへの販売と、PB商品の共同開発

主要得意先

イオングループ様、(株)ライフコーポレーション様、
(株)東急ストア様、アイワイフーズ(株)様、(株)旬楽膳様
小田急商事(株)様、エイチ・ツー・オーリテイリンググループ様、
コープ自然派事業連合様、コストコホールセールジャパン(株)様、
(株)こだわりのや様、(株)クレヨンハウス様、ムソー(株)様
学校給食会様(吹田市、茨木市、武蔵野市その他)
(株)京阪ザ・ストア、(株)京阪百貨店、京阪グループ各ホテル



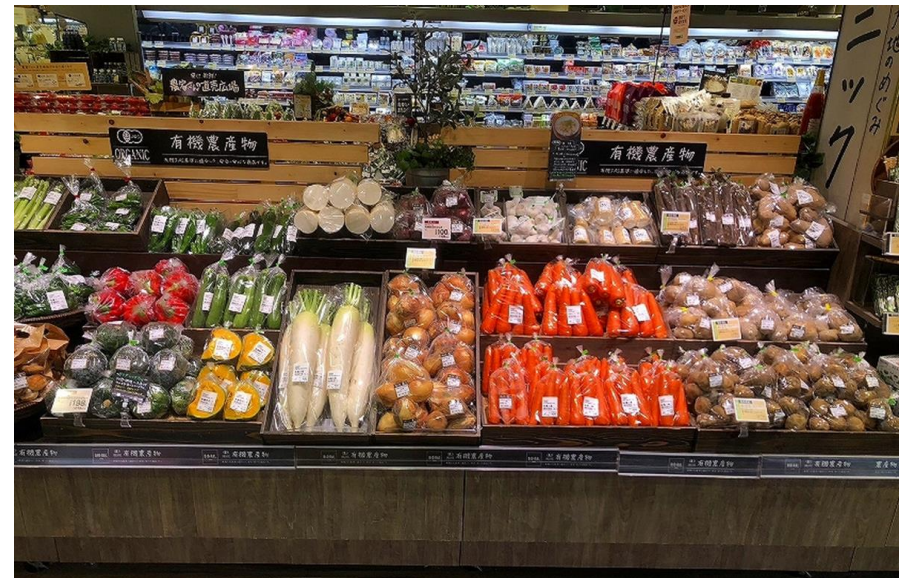
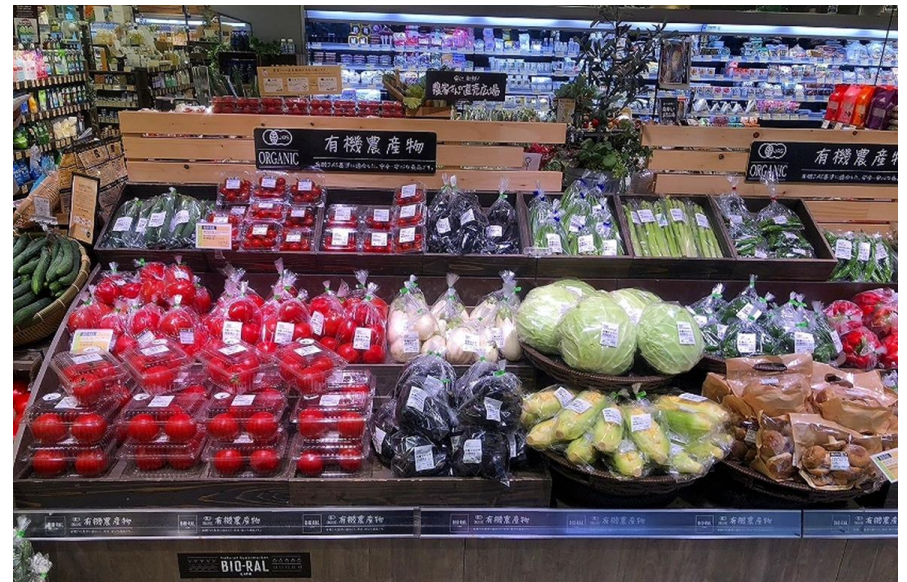


BIO 自社編集売場(グループ店舗)





自社編集売場(その他)



物流機能

		和歌山センター	豊中センター	戸田センター
延べ床面積		1,090 m ²	1,200 m ²	712 m ²
定温仕分け室	20℃	425 m ²	225 m ²	591 m ²
定温ピック室	20℃		94 m ²	
冷蔵室	5℃	80 m ²	180 m ²	88 m ²
冷凍室	-20℃	30 m ²	17 m ²	32 m ²
定温保管室	15℃	339 m ² (180t)		
有機JAS小分け機能	認証番号	NC-09022620	NC-09022621	NC-09022622
製造日量		10,000 パック	5,000 パック	20,000 パック
製造能力日量		25,000 パック	10,000 パック	30,000 パック
精米設備				
精米日量		1,000 kg		



有機JAS認定

小分け
製造

2000年
2000年

全センター
和歌山センター



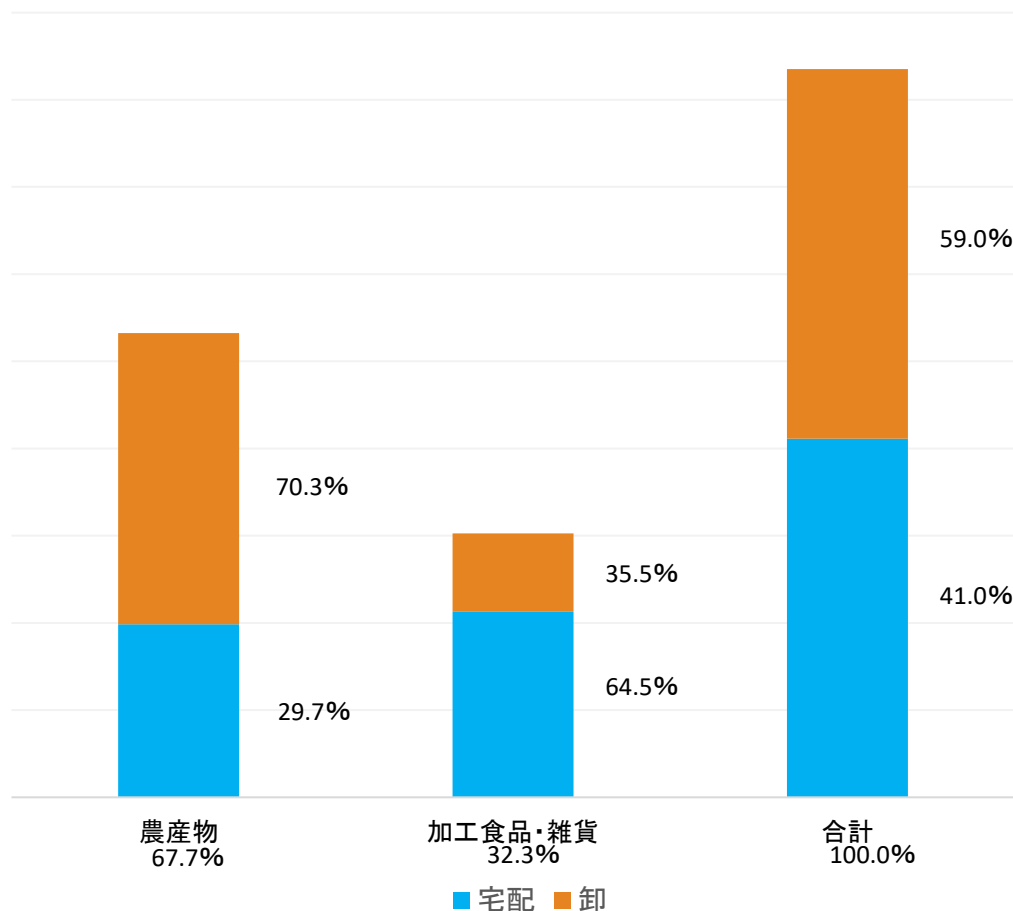
業績概要と売上構成比

2023年度実績

(金額単位: 百万円)

	金額	前年比
売上高	4,616	105.7%

	売上高	前年比	構成比
小売事業	1,896	97.3%	41.1%
卸売事業	2,703	112.6%	58.6%
その他	17	110.8%	0.3%
合計	4,616	105.7%	100.0%





有機農産物の取り扱い高



	重量単位:トン	2020年度	前年比	2021年度	前年比	2022年度	前年比	2023年度	前年比
野菜	国内総生産量	14,367,000	123%	13,863,000	96%	14,232,000	103%		
	国内有機格付	53,256	100%	49,239	92%	55,441	113%		
	国内有機比率	0.37%		0.36%		0.39%			
	BIO取扱実績	3,208	111%	3,464	108%	3,909	113%	4,139	106%
	BIOシェア	6.02%		7.04%		7.05%			
果物	国内総生産量	2,685,000	99%	2,599,000	97%	2,645,000	102%		
	国内有機格付	2,633	107%	3,131	119%	2,751	88%		
	国内有機比率	0.10%		0.12%		0.10%			
	BIO取扱実績	189	117%	208	110%	269	129%	301	112%
	BIOシェア	7.18%		6.64%		9.78%			
米	国内総生産量	8,145,000	100%	8,226,000	101%	8,073,000	98%		
	国内有機格付	8,719	103%	9,771	112%	9,318	95%		
	国内有機比率	0.11%		0.12%		0.12%			
	BIO取扱実績	303	113%	294	97%	361	123%	429	119%
	BIOシェア	3.48%		3.01%		3.87%			
合計	国内総生産量	25,197,000	112%	24,688,000	98%	24,950,000	101%		
	国内有機格付	64,608	101%	62,141	96%	67,510	109%		
	国内有機比率	0.26%		0.25%		0.27%			
	BIO取扱実績	3,700	112%	3,966	107%	4,539	114%	4,869	107%
	BIOシェア	5.73%		6.38%		6.72%			

MDシステム

農産物

- － 有機JASを取得した農家への、生産委託が基本システム
- － 生産行程管理者数 約250、生産者数 約300、年間取扱い品目200品目以上
- － 販売・生産実績評価をふまえた作付計画を立案し、年2回作付会議を開催（週ごとの出荷数量・価格をあらかじめ年単位で計画）
- － 年2回の定期産地訪問と随時産地訪問を行い、各農家との方向性の共有とレベル合わせを実施
- － 北海道から沖縄まで、適地適作・旬のリレー体制を構築し、主要作物は通年出荷を実現することで、有機農産物の流通システムを確立

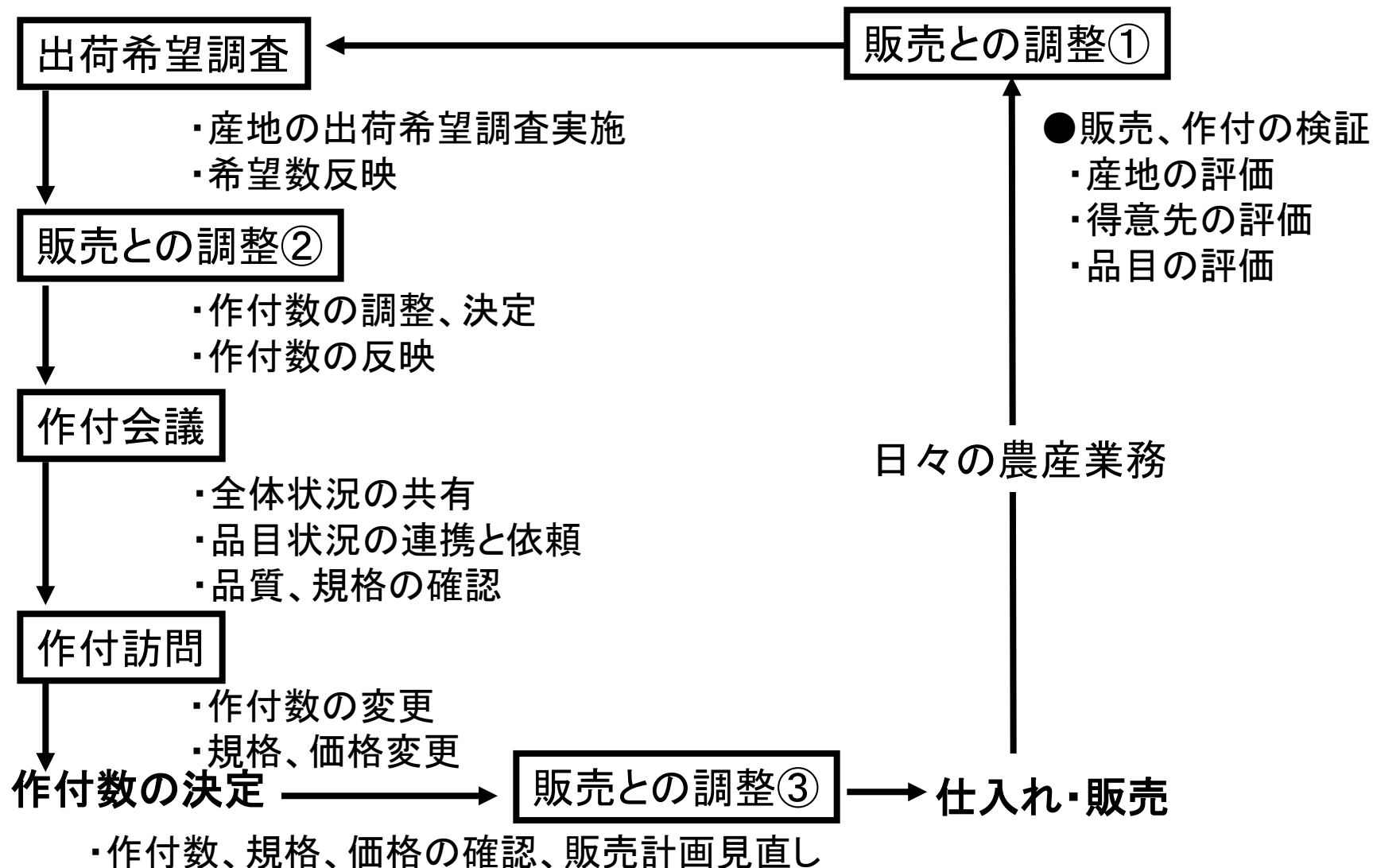
加工食品

- － ビオ・マルシェが委託生産する有機農産物と同じ有機農産物を原料に委託工場で加工し、国内産有機JAS食品のブランド「ビオ・マルシェ」として、約200アイテムを展開
- － 豆・粉・雑穀などの一次加工品は、自社で製造





農産物MDシステム詳細





取扱い基準と課題

取扱い基準

- － 野菜・お米 基本有機JAS認証(転換期間中含む)取得したもの
- － 果物 有機JAS認証(転換期間中を含む)を基本とし、一部自社基準取扱い

課題

- － 安定した供給体制
毎年発生する異常気象への対応、不足品目・時期への対応
- － 適正な価格
作る側も食べる側もお互いに無理なく継続できる価格の構築(相互努力)
- － 情報の発信
生産の背景、日々のやりとり情報等の発信